

# くみやま

# 議会 だより



No.  
**132**

平成25年  
**11月1日号**  
発行／京都府  
久御山町議会



## 12月定例会の予定

12月4日(水) 開 会  
12月19日(木) 一般質問  
12月25日(水) 閉 会

※日程は、変更することがあります。

## 9月定例会

産業振興に追加支援……………2～3P  
決算審査(平成24年度)……………4P  
9人が登壇 一般質問……………5～14P  
委員会からの報告……………15P～16P  
議会活性化事業……………17P～18P  
研修報告……………19P  
新企画 このまち・このひと……………20P

[表紙写真: ヨイショ!…(佐山小学校運動会)]

9月定例会  
9月4日～26日

クロスピア産業祭・プレミアム商品券

産業振興に追加支援

平成25年度補正予算

平成25年第3回定例会が、9月4日から26日までの23日間の会期で開かれました。

今議会では、町長から提出された人事案件、条例制定、平成25年度補正予算のほか、「道州制導入に反対する意見書」の採択など、13件の議案について審議し、いずれも原案のとおり同意・可決されました。

また、平成24年度の各会計決算認定は、決算特別委員会を設置し、審査を付託しました。一般質問は、通算4回目となる休日議会として22日におこなわれ、9人の議員がさまざまな課題について考えをいただきました。

## 補正予算

### ◆一般会計補正予算(第2号)

(主な内容)

・小規模福祉施設支援事業  
・スプリンクラー設置費補助金

155万円

・老人福祉センター施設維持管理事業 45万円  
・荒見苑温便座等の設置  
・商工会運営等補助事業 50万円  
・プレミアム商品券発行事業の支援補助  
・まちの駅施設運営・維持管理事業 150万円  
・クロスピア周辺で開催されるイベントの補助金  
・消防庁舎施設維持管理事業 112万円  
・照明器具、コンセント等の修繕料  
・小学校施設維持管理事業 100万円  
・東角小学校の杉枝剪定

【全員賛成で可決】

### ◆国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第1号)

(第1号)

3440万円

【全員賛成で可決】

### ◆三郷山財産区特別会計補正予算(第1号)

16万円

【全員賛成で可決】

### ◆公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)

▲1357万円

【全員賛成で可決】

### ◆介護保険特別会計補正予算(第1号)

2215万円

【全員賛成で可決】

### ◆後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

374万円

【全員賛成で可決】

### ◆水道事業会計補正予算(第1号)

収益的収入 1026万円

収益的支出 1819万円

資本的支出 ▲179万円

【全員賛成で可決】

# 人事案件

## 人権擁護委員

**今村 暁子氏** (再任)

今村暁子氏(林・64歳)の、人権擁護委員(任期3年)としての任期満了にともない、引き続き適任とする事に全員賛成で決定しました。

## 固定資産評価審査委員会委員

**村田 傳四郎氏** (新任)

村田傳四郎氏(森・65歳)を、新たに固定資産評価審査委員会委員(任期3年)として選任する事に全員賛成で同意しました。

## 教育委員会委員

**平野 穂奈美氏** (再任)  
**小寺 道夫氏** (新任)

教育委員会委員(任期4年)の任期満了にともない、引き続き平野穂奈美氏(栄・50歳)を、新たに小寺道夫氏(相島・61歳)を教育委員会委員に任命する事に賛成多数で同意しました。

## 三郷山財産区管理委員

任期満了にともなう三郷山財産区管理委員(任期4年)に、次の7人の方を選任することに全員賛成で同意しました。

**信貴 喜明氏** (佐山・70歳)

**奥野 剛延氏** (佐山・71歳)

**小西 義清氏** (佐山・66歳)

**岩井平 左右氏** (佐古・70歳)

**藤村 和夫氏** (佐古・66歳)

**野田 茂氏** (林・86歳)

**西村 博氏** (林・72歳)

# 意見書

今議会において、「道州制は、事実上の強制合併を余儀なくされるおそれが高く、町村の存在を否定する道州制の導入に反対する」として、道州制導入に反対する意見書が提出されました。

審議の結果、全員賛成で可決され、関係機関へ提出しました。

賛成討論 河原崎博之議員  
賛成討論 巽悦子議員

## 道州制導入に反対する意見書

政府によって進められている道州制関連法案については、道州制導入後の国の具体的なかたちを示さないまま、期限を区切った導入ありきの内容となっており、事務権限の受け皿という名目のもと、ほとんどの町村においては、事実上の合併を余儀なくされるおそれが高い。そのことによって再編された「基礎自治体」は、現在の市町村や都道府県に比べ、住民と行政との距離が格段に遠くなり、住民自治が衰退してしまうことは明らかである。

町村は、身近な自治体として、これまで国民の生活を支えるため、食料供給、水源涵養、国土保全に努め、伝統・文化を守り、自然を活かした地場産業の創出など、住民とともに個性あるまちづくりを進めてきた。それにもかかわらず、効率性や経済性を優先し、地域の伝統や文化、郷土意識を無視してつくり上げる大規模な団体は、住民を置き去りにするものであり、到底地方自治体と呼べるものではないと考える。多様な自治体の存在を認め、個々の自治体の活力を高める事が、ひいては、全体としての国の増強につながるものであると確信している。

よって我々久御山町議会は、道州制の導入に反対する。  
以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

提出者 久御山町議会議員 内田 孝司  
賛成者 久御山町議会議員 河原崎 博之  
賛成者 久御山町議会議員 塚本 五三藏  
賛成者 久御山町議会議員 堤 健三  
賛成者 久御山町議会議員 巽 悦子

## ギカイのギモン — 三郷山財産区とは

三郷山は、宇治市と宇治田原町にまたがる久御山町の飛び地で、山間地にあり、佐山・佐古・林の3つの自治会により財産区として管理・運営しています。現在は、みどりが丘府民スポーツ広場(やグリーンヒル三郷山(一般廃棄物最終処分場))として土地利用されています。

# 条例制定

## ◆久御山町子ども・子育て会議条例制定について

子ども・子育て支援法第77条第1項の規定に基づき、久御山町子ども・子育て会議を設置するための条例制定

反対討論

巽悦子議員

【賛成多数で可決】

# 平成24年度会計

# 決算審査

平成24年度各会計の決算認定7議案を、議会の閉会中も十分な時間をとり、より詳細な審査をおこなうため、7人の委員で構成する「決算特別委員会」を設置しました。

## 委員会の構成

- 委員長 河原崎博之 (緑風会)
- 副委員長 巽悦子 (日本共産党議員団)
- 委員 中 大介 (自由クラブ)
- 委員 島 宏樹 (清風会)
- 委員 内田 孝司 (清風会)
- 委員 (ネクストくみやま) 田口 浩嗣 (清風会)
- 委員 岩田 芳一 (公明党議員団)

## 審査日程

- 現地視察 10月4日
- 総務部・消防本部・会計課・議会事務局 10月8日
- 事業建設部 10月15日
- 民生部 10月23日
- 教育委員会 10月25日
- 総括審査 10月31日

決算審査は、各部局ごとに担当する課の説明や質疑に対する答弁を聴き、予算が適正に執行されていたか、期待どおりの成果となっているかなどを調査するもので、昨年度の事業で完成した工事場所などに向いての現地視察や、総括審査などをおこないます。この審査は、昨年度に実施された事業などを、執行済みものとし、今後の行政運営の改善に役立てるなど、重要な意義をもつもので、審査の結果は、12月の定例会で決算特別委員長が報告します。



御牧小学校体育館耐震補強工事



木津川河川敷運動広場復旧工事



東一口消火栓設置工事

## 平成24年度会計決算額 (予定)

| 会計名     | 歳入総額      | 歳出総額      | 差引額       |         |
|---------|-----------|-----------|-----------|---------|
| 一般会計    | 68億4885万円 | 65億7254万円 | 2億7631万円  |         |
| 特別会計    | 国民健康保険    | 21億1112万円 | 20億2378万円 | 8734万円  |
|         | 三郷山財産区    | 501万円     | 479万円     | 22万円    |
|         | 公共下水道事業   | 8億7998万円  | 8億7754万円  | 244万円   |
|         | 介護保険      | 10億7299万円 | 10億5675万円 | 1624万円  |
|         | 後期高齢者医療   | 1億7287万円  | 1億6913万円  | 374万円   |
| 水事会(税込) | 収益的支出     | 5億75万円    | 4億8915万円  | 1160万円  |
|         | 資本的支出     | 7321万円    | 9152万円    | ▲1831万円 |

※万円未満四捨五入 (▲=減)

## 一般質問

# 9人の議員が町政をたずねる



9月定例会の一般質問は、休日議会として9月22日の日曜日におこなわれ、9人の議員が町政の当面する課題について質しました。

質問および答弁の要旨は、6～14ページに掲載しています。

### 質問者（質問順）

|  |  |
|--|--|
| <b>田口 浩嗣 議員</b> <b>一問一答方式</b> …6ページ<br>①通学路の安全対策について<br>②体育館の利用について                    | <b>堤 健三 議員</b> <b>一問一答方式</b> …7ページ<br>①児童の登下校時安全対策について<br>②通学時の「のってこバス」利用について<br>③佐山小学校西側水路の防災環境について           |
| <b>島 宏樹 議員</b> <b>一問一答方式</b> …8ページ<br>①ふるさと納税（基金）について<br>②夏の猛暑対策について                   | <b>中井 孝紀 議員</b> <b>一問一答方式</b> …9ページ<br>①総合的な治水対策について<br>②役場の土日開庁について   |
| <b>三宅 美子 議員</b> <b>一問一答方式</b> …10ページ<br>①TPP交渉について<br>②ゴミ処理について<br>③「山田家住宅」について        | <b>河原崎博之 議員</b> <b>一括質問方式</b> …11ページ<br>①農作物認証制度について<br>②やましろ新鮮野菜応援プロジェクト会議の関わりについて<br>③農業塾の考え方について            |
| <b>戸川 和子 議員</b> <b>一問一答方式</b> …12ページ<br>①小中学校のいじめについて<br>②健康増進対策について                   | <b>巽 悦子 議員</b> <b>一問一答方式</b> …13ページ<br>①平和都市宣言の町にふさわしい事業について<br>②成人用肺炎球菌ワクチン予防接種への支援について<br>③森南大内新市街地整備事業について  |
| <b>塚本五三蔵 議員</b> <b>一括質問方式</b> …14ページ<br>①老後も安心して暮らせる地域包括ケアシステムの推進について<br>②町民プールの運営について | <b>一括質問方式</b><br>従来から実施してきた方式。質問回数は2回まで。<br><b>一問一答方式</b><br>2回目からの質問は、一つの事項を深く掘り下げて何度でもできる。ただし、議員の質問時間は30分以内。 |

## あなたも議会を傍聴しませんか。

12月定例会の一般質問は、12月19日(木) 午前10時に開会します。

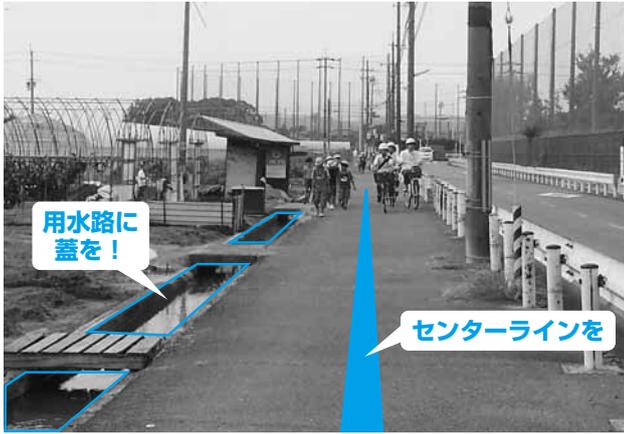
会議日程や傍聴の手続きについては、議会事務局 ☎075 (631) 9996・0774 (45) 0105へお問い合わせください。



田口 浩嗣 議員

### Q 水路に蓋ふたをして安全対策を

### A 広くなると自転車のスピードが出て危険



久御山中学校東側歩道

質問 昨年、通水路の総点検がおこなわれたが、現在の整備状況と、新たに危険と判断した箇所とその安全対策は。

また、久御山中学校東側歩道は、多くの小中学生が自転車と徒歩で通行しており、大変危険な状態だ。歩道横の用水路の

水量は多く、流れも速いことから事故の危険性がある。

そこで、用水路全面に蓋をして、歩道幅を広くし、センターラインによる安全対策をおこなうべきではないか。

#### 都市整備課長

昨年の通水路点検結果で、15か所34項目の安全対策が必要と判断し、8月末の整備率は約7割である。年度内に中学校正門前の信号設置など4か所を実施すれば、整備率は約8割となる。

また通水路で小・中学校が重なっている箇所は、町内8か所、離合箇所は5か所である。

なお、中学校前歩道幅は3mあり、用水路に蓋をしてこれ以上広げると、自転車のスピードが出て、事故となる可能性も高く現状維持と考える。

#### 町長

現実でやれることはいか、啓発も含めた生徒指導も徹底する必要がある。信号機設置による自

転車のたまり場についての方策はとらねばならない。

小・中学生の登校時に一部通学時間が重なり、危険な状態である。先日、登校中に排水路に落ちた件や自転車同士の正面衝突の事象は承知しており、当日、注意喚起として指導した。

#### 学校教育課長

中学生の自転車通学においては、児童の登校班など交通弱者に注意をはらって、安全な登校に努めるよう指導したい。離

合の際には、一時停止や下車するなど、危険回避の指導も促していく。

#### 質問

野村交差点の国道1号線下を通る地下道は、バイクも通るため、通学中の自転車と接触する危険があり、通行規制すべきではないか。

#### 都市整備課長

野村地下道をバイク規制すると、国道1号線を横断することになり、バイクの死亡事故に繋がる観点で、危険と考えるが、警察と協議を進める。

### Q フットサルの体育館での利用は

### A 利用できるよう検討する

#### 質問

久御山中学校体育館では、今までフットサルの使用が出来ていたが、改修後は使用不可と聞いている。また、それ以外の体育館は、以前からフットサルの使用はできない。

久御山町は、生涯スポーツの推進を積極的に取り組んでいるのに、なぜ使用不可なのか。また、野外施設の改修時に、スポーツ全般がおこなえるように施設を充実させる考えはないのか。

#### 社会教育課長

今まで久御山中学校の体育館は使用の条件を定め、使用可能だったが、現在は耐震補強改修中で、改修後は、フットサルの使用不可と考えている。総合体育館でのフットサルの利用は、アリーナ壁面の保護ネットもなく、施設設備が損傷して、他のスポーツに支障をきたすため、フットサルは使用不可としてきた。

しかし、近隣の体育館は、保護対策の設置によって許可されており、今後関係機関と保護対策についての協議調整をおこなない、フットサルの使用が出来るように検討していく。また、野外施設の使用方法等も含めて検討する。

#### 教育長

スポーツ振興基本法の策定や生涯学習の推進のために、総合計画の見直し等も今後検討していく。



堤 健二 議員

### Q 児童の登下校の安全対策の現状は

### A 地域の「見守り活動」に 支えられている

求める通達を出したが、本町の見守り体制の現状は。

#### 教育次長

見守り体制の一つとして見守隊があります。見守り隊は、地域のボランティア活動に支えられているものであり、各種団体や地域の皆さんの登下校時における児童への見守り活動をしていただいている。

#### 学校教育課長

P T A、自治会、地域の皆さんには登下校時の見守り活動にご尽力をいただいている。今後も情報共有を積極的におこな

う中で、児童の安全・安心を守るために子どもの見守りを継続、充実していきたい。

#### 質問

体調の悪い児童が、のってこバス利用で登下校することについてはどうか。

#### 学校教育課長

体調面がすぐれないなどの事情で登校班から外れるときは、前もって登校班の班長であるとか、地域委員にその内容を伝えて頂き、必要な処置をされれば、「のってこバス」の利用も選択肢の一つと考えている。



集団登校する児童たち

#### 質問

今年6月に東京都練馬区で、児童3人がナイフを持った男に切りつけられるという大変ショッキングな事件があったが、幸い軽傷だった。

#### 質問

この事件後、京都府教育委員会では、各小

学校に安全対策の徹底を

浸水の心配はいらないか。

また、川底に堆積している土砂やごみは水の流れを悪くし、冠水の大き

### Q 昨年の「あいあいホール」 床上浸水被害の検証と対策は

### A 護岸の高さをあわせることも有効

な原因ではなかったのか。

#### 都市整備課長

昨年京都市南部集中豪

雨では、役場に設置している雨量計で、雨が一番強く降った時間帯は4時半からの1時間で94mmの雨量を記録しており、都市下水路の整備計画時間雨量である51mmを大きく超えていた。

このような状況下で、道路側溝では排水しきれない雨が、都市下水路の護岸で一番低い箇所である佐山幼稚園と佐山小学

校との間の通路付近からの越水で、あいあいホールに被害がでた。

あいあいホール側の護岸が対岸と比べ、一段低くなっていることも一因であるので、対岸の高さをあわせることも有効と考える。

#### 事業建設部長

越水の原因は、計画雨量を大きく上回ったのが原因。土砂や草・ごみが一番大きな原因ではなかった。水路の清掃は出来るだけ早く実施する。



昨年8月の集中豪雨であふれ、「あいあいホール」が床上浸水した大内都市下水路



島 宏樹 議員

### Q ふるさと納税で地元のPRを

### A 今後、積極的にPRしていく

#### 質問

ふるさと納税は5年前に導入され、本町の現在までの実績はいくらか。また、どのような方法で周知・PRしているのか。

#### 総務課長

5年間の実績は1件2万5000円のみ。3年前に手引きを作成し、ホームページでPRするが積極的な啓発はしていない。

また、寄附のお礼は、礼状と希望により広報紙、ほほえみ紀行の送付をしている。

#### 質問

先進の自治体では、わかりやすいホームページをつくり、一定の寄附された方に特産品を贈っている。

地元のPRのために、寄附者に久御山ブランドの特産品を贈るなど、前向きな考えはあるのか。

#### 産業課長

寄附者に対し一定のお礼をおこなうことで効果が期待できる。商工業の情報発信も視野に入れ、農・商業関係者等にも協力を得ながら協議検討をおこない、特産品の作成

に努めていきたい。

#### 質問

企業や久御山町出身の経営者に働きかけるためパンフレットをつくる考えはあるのか。

また、収納方法をクレジットカード決済やコンビニ収納を進める方向はあるのか。

#### 総務課長

パンフレットを作成する予定は今年度はない。ただし、山田家の修復活用で、ふるさと納税をPRするパンフレット等は作成していく予定である。

収納方法は、初期投資の面と費用対効果を見ながら今後検討する。

#### 町長

建設的な意見として、今後はふるさと納税を積極的にPRしていく。職員に対しても、目的意識を持ち制度を活用していくのか意識付けをすすめていきたい。

### Q 今後の熱中症対策は

### A クールシエルターも含め検討する

#### 質問

今年の夏は異常気象で、広い範囲で猛暑に見舞われた。

本町の熱中症の搬送件数と猛暑対策の取り組みはどのようであったのか。他の自治体ではクールシエルターとして、公共施設を活用されている事例がある。本町でもクールシエルターで熱中症対策をする新しい展開は考

えているのか。

#### 総務部長

6月から8月までの熱中症による救急車搬送件数は17件である。

猛暑対策としては、広報誌やひとり暮らしの高齢者宅に戸別訪問しチラシの配布などの取り組みを実施した。また、16の公共施設に琉球アサガオやゴーヤの苗を配付し、各施設で緑のカーテンを

#### 質問

設置した。クールシエルターについては、どのような利点や課題があるかを検証し、今後検討していく。

熱中症対策に緑のカーテンやミストシャワーを取り入れている学校も多い。

余分な費用をかけず、アイデアを出し合い猛暑対策に取り組む発想はないのか。

#### 学校教育課長

緑のカーテンの取り組みは、教育的な観点も含め、次年度以降、具体的な取り組みを進めていくよう学校関係機関に指導していく。

#### 教育長

保幼小中学校でミストシャワーの熱中症対策について、大変効果があると聞いている。

子どもたちの健康管理も気を遣い、夏場等にかに工夫するのか、簡易な方法も十分勘案する中で、ソフト面ハード面で検討する。



役場庁舎に設置した緑のカーテン



中井 孝紀 議員

### Q 4台目のポンプ増設が先ではないか

### A 国に強く要望していきたい

#### 質問

外水・内水に対する総合的な治水対策が必要となっているが、古川改修工事に伴って流下能力は毎秒120トから190トに上がるが、久御山排水機場の排水能力は、3台のポンプで90トしかない氾濫の危険がある。

か。

さらに、昨年の8月14日の集中豪雨から1年が経過したが、内水が氾濫した原因である大内サイフォンの再整備や都市下水路の再整備について、国・京都府・関係機関とどのような協議をしてきたのか。

#### 町長

今後は、国交省と農林省が所管する排水機場の操作運用や連携について、国・京都府、関係機関との協議をおこない充実に努めたい。

#### 都市整備課長

4台目のポンプ増設については、早期に実現できるような、国に強く要望したい。また、堤防の強化と大木伐採についても機会を捉えて要望している。

大内サイフォンおよび都市下水路の再整備は、状況を見ながら関係機関とも協議して検討を進めたい。

#### 質問

町長は、古川の改修工事で久御山町の治水能力が高まるといわれていたが、ポンプを増設しないと久御山町が冠水すると認識がなかったのではないか。

#### 町長

上流の水の流れが早くなるので、治水能力が高まるというのはいかがでしょうか。水をくみ出せる能力を十分に得ることがで



9月18日の「特別警報」時に危険水位に達した古川(東一口)

ければ治水能力が高まるのかなと思うのでポンプの要望はしっかりとやりたい。

#### 質問

治水対策についての課題をしっかりと検証して、どうすれば減災につながるのかを久御山町として十分に協議していただき

8月14日の集中豪雨から1年も経過したが、国・京都府・関係機関と治水

対策について十分な協議をしていないのではないかと。

#### 事業建設部長

古川の水位が下がれば大内川から大内サイフォンを通らない32トの水は古川に流すことができる。ハード整備も一つの方法だが、久御山排水機場の運転をできるだけ早い段階でできることなど、ソフト面での対策を協議している。

### Q 土日開庁は時代の流れではないか

### A ささざまな問題が懸念される

#### 質問

現在社会において、生活習慣の多様化や、共働き世帯の増加などにより、平日にしか開いていない役場へ行くには支障のある方が年々増えている。

土日開庁は時代の流れであり、住民サービスを充実させ、より一層身近で便利な役場にすべきではないか。

#### 町長

土日を開庁することは、この上ないサービスとは思いますが、人件費や、電算システムの保守・職員の勤務体制などささざまな問題が懸念される。

そのため、土日開庁に限らず他の手法も含めて住民サービスのあり方、適正化を十分検討したい。



三宅 美子 議員

### Q 「山田家住宅」の寄附後の管理・利用について

A 当面の使用は町等関係団体に限り、今後、長屋門・長塀修復工事おこなう

#### 質問

「山田家住宅」は、8月1日に寄附を受けた。早速、一部住民の見学を受け入れているが、少なくない住民の皆さんか

早速、一部住民の見学を受け入れているが、

らこの受け入れに疑問の声を聞く中、私も財産としての対応に疑問をい

この施設の管理、利用について説明を求める。

#### 社会教育課長

「山田家住宅」については、当面の間は、町または教育委員会、社会教育団体等が実施する事業の使用に限らせていただき、今後、保存修復ができた時点で、設置や管理条例等の制定をおこなっていきたく考えている。

#### 質問

今年度予算に予算化されました修理の分は、頂

いたら修理するということだったが、実施したのか。

#### 社会教育課長

8月1日に寄附を受けて、その後現場の調査をおこない、今後、修復、特に、山田家長屋門の西側の屋根部分の軽量化を

図る工事を実施しようと考えている。

#### 質問

寄附されたら、まず町としては、調査・修理し

て、住民に開放という流れだと思いが今後の予定かどうか。

#### 社会教育課長

今年度の実施計画において、長屋門、長塀の保存修復の調査費を計上し

て、来年度に調査設計をおこない、その結果もとに平成27年度以降に数年において、長屋門、長塀の保存修復工事は、おこなっていきたく考えている。

### Q TPPの現状についての見解は

A 「国益を守る」基本姿勢を信じるが国民にはわかりやすく示すべき

#### 質問

政府自民党は、国民の多くの反対を押し切って、TPP交渉参加を強行した。

についてですら、他の参加国に課税撤廃の例外とするように求めた形跡もない。

参議院選で自民党は、「守るべきものは守る」と公約したが、守るべきものの筆頭であるはずの、コメ、麦、牛肉などの「農産物分野の重要5項目」

また、交渉参加にあたり日本政府は守秘義務の契約書に署名し、交渉内容を国民に明らかにしていない。この現状で農業関係者はもとより、医療消費者、弁護士などから

反対の声が上がっている。久御山町農業委員会でも撤退を求める意見書を提出した。この現状での町長の見解を求める。

#### 町長

TPPの交渉参加にあたって、政府は日本の国益を守ることを誓い、「守るべきは守り、攻めるべきは攻める」という基本姿勢が伝えられている。

しかし、参加表明の当初より、貿易障壁が撤廃されると農家や医療団体業界等への悪影響の危惧から、政府内での慎重意見や団体からの反対意見も強いように聞いている。そういった状況だが、関税を撤廃する品目の割合である自由化率は大変難しいようにも報道されている。

交渉では、「国益を守る」とした基本姿勢で臨んでいただくことを信じている。あわせて政府は交渉経過を含めて、国民にわかりやすく示す必要があると考えている。



補修・修復できなかった時点で公開方法を考えることになる山田家住宅



河原崎博之 議員

Q やましろ新鮮野菜応援プロジェクト会議

町はどう関わるのか

A 引き続き会議に参画していきたい

質問

昨年、やましろ管内地元産の野菜の目印となるロゴマークが決定した。

これからは、JA京都やましろを通じて生産者や販売協力店の登録がこなわれ、「京やましろ新鮮野菜産地銘柄認証」のシンボルマークとして活



JA「京やましろ新鮮野菜」のロゴマーク

用される。

そこで、JA京都やましろと市場と行政とが一体となり産地力向上に向けた取り組みが一層進められると考えるが、町の関わり方は。

産業課長

やましろ新鮮野菜応援プロジェクト会議の下におかれた推進チーム、実行チームに参加して、やましろ産野菜の商品力と知名度の向上、生産から出荷、流通・販売などに連携し取り組んでいる。引き続き、このプロジェクト会議に参画して

JAや京都府と連携しながら、山城全体で野菜の品質・ブランド力向上、産地づくりに取り組んでいきたい。

Q 「農業塾」についての考えは

A 生産者団体自らが担い手育成をめざして取り組むものと考え

質問

農業の担い手育成事業

として、京田辺市では「農家養成塾」、精華町では「せいか農業塾」が開講され、受講者が新規栽培

に乗り出すなど塾の果す役割は大きい。

本町の場合は、パイプハウスを活用した果菜類や葉物野菜の周年栽培される経営が多い。そのため、土壌の肥料

濃度が高く、塩類集積で野菜の生育阻害現象が確認している。農業の基本技



将来を担う久御山町の若手農業者のみなさん

術の習得や担い手育成を考える上で、農業塾についての考えを聞く。事業建設部長

基本的には、生産者団体自らが担い手、後継者の育成を目指して取り組まれるものと考えている。町としては、総括推進員が農業者のパイプ役として

また、農業塾以外にも京都府農業総合支援センターの就農サポート事業といった既存の事業もある。この事業の周知にも努めていきたい。

Q 京ブランド野菜拡大の方向性は

A 経営の安定と環境に優しい栽培方法の導入が必要だ

質問

品質がすぐれた農産物を、京のブランド製品として消費者にアピールしていくと、平成元年に京都のブランド認証事業がスタートした。現在、27品目が指定され、町内で栽培されている京野菜の更なる品目の拡大が出来ないかと考えるが、今後の方向性は。

産業課長

本町で生産されている

本町でのブランド製品の品目拡大にあたっては、農業経営が安定する京野菜の栽培に取り組むことが重要で、かつ環境に優しい栽培方法の導入によって産地力向上が必要と考える。



戸川 和子 議員

### Q 本町小中学校のいじめの実態は

### A ほとんどが解決済みで

### 中学校の1名が指導中である

#### 質問

近年、いじめ等による自殺者が増え、深刻な問題となっている。

文部科学省が、児童・

生徒の問題に関する調査で用いるいじめの定義は、子どもが一定の人間関係



道徳の授業で使用されている教材

のある者から、心理的・

物理的攻撃を受けたことにより、身体および精神的な苦痛を感じているものである。いじめか否かの判断はいじめられた子どもの立場に立っておこなうよう徹底されている。

また、いじめは、どの学校にも、どのクラスにも、どの子にも起こり得るものと言われている。

そこで、1学期に京都府教育委員会が実施した公立小中学校のいじめ実態調査の本町の現状は。

#### 学校教育課長

小学校と中学校を合わせた1379名の児童生徒のうち、いじめを受けたと感じた数が257名で、この全員に聞き取り調査をおこない、学校としていじめであると判断した数は48名。さらに、詳しい聞き取りや指導、話し合いをおこなった結果、5名の児童生徒を継続的に指導する中で、結果として47名が解決し、中学校の1名が指導中である。

#### 質問

いじめは絶対いけないという教育が重要で、生命の尊さや人権の尊重など徹底して学ぶことが、いじめ撲滅に繋がると思うが、教育面ではどのように指導しているのか。

#### 教育次長

人権教育を柱として、各教科、道徳、特別活動等のあらゆる教育機会を

通じて、継続的に指導している。特に道徳の授業は重要と考えている。

#### 質問

その道徳の授業が、国語や算数の時間に変えられているのでは。

#### 教育次長

さちつと道徳の時間を確保するよう、指導していく。

### Q 健康増進対策として

### 「健康マイレージ」導入の考えは

### A 成果や課題などを総合的に

### 検証していく

#### 質問

誰もが生涯健康で、心豊かに暮らせることを希望されていると思うが、今、全国で健康づくり活動をポイント換算して、それを特典に変える「健康マイレージ」という取り組みをされている自治体がある。

健康関連のイベントに参加したり、健康診断を受診また、地域活動など、自分の健康のためにしたことについて、ポイントが加算され、そのポイントにより特典がもらえるというものである。

本町での実施の考えを聞く。

たとえば、運動教室や

#### 長寿健康課長

「健康マイレージ」については、健康に興味を持っていただくきっかけづくりとして注目をされている制度である。

導入されている市町村も徐々に増えてきているので、その実施状況や成果、課題などを総合的に検証していきたい。

#### 質問

長寿健康課だけの取り組みではなく、生きがい大学、いきいきサロン、ボランティア活動など、各課を挙げて取り組んではどうか。

#### 町長

有効な制度として活用が決まれば、関係各課や関係機関と連携を図り、実施方法等について検討していく。



巽 悦子 議員

### Q 「恒久平和」の理念継承への決意を

### A 次世代に引き継ぐことが私の使命だ

#### 質問

「平和都市宣言」に、「憲法に掲げられた恒久平和の理念を子々孫々に継承する」の一文がある。積極的に語り継ぐ必要と考えるが、町長の決意を。

#### 町長

次世代に引き継ぐことが私の使命であると思う。文献や写真もあるが、語り部の映像を残すとか文力の力を使い、伝えなければと認識している。

#### 質問

学校での平和教育は、道徳とか特別活動等で実施とのことだが、8月6日を登校日にし、平和学習している学校もあるが。

#### 教育長

夏休みの登校は、学校長の判断。教育的効果については、検討したい。



被爆者の講演を役場ロビーで開催(今年8月15日平和祈念集会後)

### Q 新市街地整備事業 デベロッパ任せになるのでは

### A 開発業者に本町の要望や目的を伝えた

#### 質問

森南大内地区の新市街地整備事業は、多大な税金をつぎ込んだため、住民にも説明が必要だ。この事業の総括と今後の土地利用は。

#### 都市整備課担当課長

クロスピアくみやまは、オープンして4年目。利用については、まだまだ満足はいく状態ではない。抜本的な見直しも検討する必要がある。

討する必要がある。

クロスピア周辺土地の開発状況では、主に大型店舗が、開発業者の管理および個人の土地を借地し駐車場として利用されている。「まちの駅」周辺は、賑わいのある土地利用が図られるよう、開発業者や土地所有者と引き続き協議したい。

#### 質問

まちづくりは、町が責任を持つとの方向性をうちださないと、デベロッパ(開発業者)任せになってしまう。町長の見解を求める。

#### 町長

デベロッパがあいだに入っていることで、どうなっているかが見えなかった部分があったが、先般、会うことができた。デベロッパには転貸人がいて、転貸人のビジ



「賑わいのある」土地利用というが…ほとんどが駐車場として利用

ネス的な思惑があるようだが、本町の意思・要望

また、賑わいがないという部分で目的が果せないことも伝えた。

先方は、町の意向の通りに動くわけではないが、意向は理解できるとのこと。また、開発業者が有名な大手にテナント付けを最近お願いしたことや、「賑わいのまち」をつくる方向性に努力していきたいと言っていた。さらに、2〜3か月前に新たなデベロッパにも声をかけ、今後検討を重ねていきたいとのことであった。

また、イオンには(駐車場の)立体の方向性も提案した。

### Q 成人用肺炎球菌ワクチン予防接種 補助制度創設を求める

### A 安全性もあり国の動向を見極めたい

#### 質問

死亡原因の第3位は肺炎。特に高齢者が高比率だ。1回の接種で7千円以上の費用が必要。このワクチン接種の認識、公費負担の支援を求める。

#### 長寿健康課長

接種費用の2分の1の

4千円を公費負担した場合、約730万円必要。

高齢者への接種は望ましいと考えるが、安全性の再評価等も必要とされる。衆参両院の附帯決議は、平成25年度中の結論を求めている。公費助成は国の動向を見極めたい。



塚本五三藏 議員

### 久御山町地域包括支援センター 運営の見直しは

Q ワンストップでできる

地域包括支援センターを目指す

#### 質問

平成18年の介護保険制度改正以来、町地域包括支援センターは、特定高齢者などの対応にノウハウがあるとして楽生苑に委託し運営してきたが、7年が経過するなか、委託内容に比して機能していない点がある。

また、今の地域包括支援センターは、行政各課や関係機関との手続きなどで連携が困難な場所にある。

平成24年に介護保険法

包括支援センターの見直しは、私の公約でもある。今年度中にはその方針を明確に示し、住民が身

近に親しむことができる。本町にふさわしい地域包括支援センターを目指す。

### 2か所目の特養の増設時期は

Q 第8次保健福祉計画で視野に入れる

#### 質問

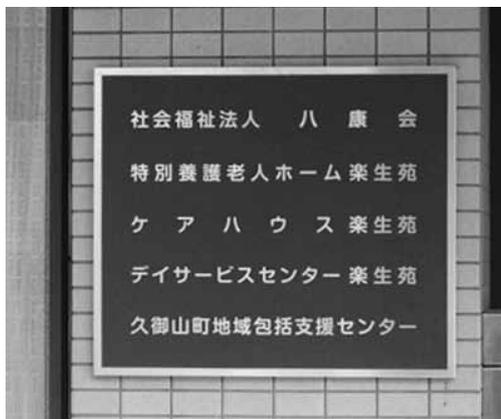
平成37年には、「団塊の世代」が75歳を迎え高齢者が急増する。終の棲家で2か所目の特別養護老人ホームの増設は、いつ頃の保健福祉計画で整備するのか。

介護療養病床は、平成23年度に廃止する期限を平成29年末までの6年間延期されたが、本町として廃止後の措置の考えは、

#### 長寿健康課長

介護療養病床は、平成29年に廃止となり、団塊の世代が75歳以上となる平成37年を視野に入れ、その影響も含めて遅くとも第10次の保健福祉計画で、特別養護老人ホームの整備は当然必要である。

2か所目の特養の建設が待たれている



#### 民生部長

特別養護老人ホームは、近隣市町の整備状況によつては、平成30年から第8次の保健福祉計画で整備も視野に入れて考える。

### 町民プールの入場料見直し、 前売り回数券の発行を

Q 入場料見直しは第5次行革で検討、  
回数券は利便性など検討する

#### 質問

公有財産の施設使用に関する使用料は、町内在住・在勤の方と、町外の方に区分されている。なぜプールの入場料だけが同じなのか。

また、町外の方の入場料の見直しは、経費の高騰を克服し財政運営の安定にもなる。町内の方に「ふれあい券」の配布枚数を増やす考えは、

さらに、炎天下の行列の解消など入場者の利便性の向上につながるため、

前売り回数券を発行してどうか。

#### 教育長

財政負担の軽減等を図るために、町外の入場料の見直しと「ふれあい券」の増数は、第5次行政改革大綱の中で、町全体の使用料などの見直し議論と併せて十分検討する。回数券の発行は、利用者に対する有効性や利便性を検証する中で検討する。



## 閉会中の 事務調査

### 障害者福祉は？排水機場の機能は？

各常任委員会では、定例議会がない時も担当所管からの出席を求め、町が実施している事業等の調査をおこなっています（閉会中の事務調査）。過日おこなわれた民生教育常任委員会（7月31日）と総務事業常任委員会（8月1日）の調査内容をお知らせします。

民生教育常任委員会・協議会（7月31日）

### 障害者支援のサービスは市場化、個人と事業所との直接契約に

平成18年度から「障害者自立支援法」が施行された。この法律によって、これまで年齢や障害程度によって縦割りで提供していたサービスが一元化

され、新しいサービス体系に移行した。また、平成25年度からは、「障害者総合支援法」に引き継がれ現在に至っている、担当課から説明を受けた。

まず「障害者自立支援法」は、身体障害、知的障害、精神障害の3つの障害が共通の施策で策定し、サービスを実施できるようにした。この法律の目的は、「措置」を「契約」

として個人の自立支援と福祉というサービスを市場化することで、障害者福祉サービスの提供ができるようにすることである。

次に障害者福祉サービスとは、介護給付、訓練等給付、補装具、自立支援医療などで、市町村独自の地域生活支援事業などと共に、障害者の方を総合的に支援していくという仕組みになっていることである。

これらのサービスを受ける流れは、①町役場窓口で相談し申請する ②町は訪問調査をおこなう ③委託先である城陽市の障害程度区分認定審査会が、障害程度区分を決定 ④判定された障害者程度「区分」によって、サービスの支給量が決まる。

これらについては、①町役場窓口で相談し申請する ②町は訪問調査をおこなう ③委託先である城陽市の障害程度区分認定審査会が、障害程度区分を決定 ④判定された障害者程度「区分」によって、サービスの支給量が決まる。

障害者がサービスを利用する場合は、障害者福

総務事業常任委員会（8月1日）

### ポンプの稼働は、宇治川水位10・5メートル以上が基準

久御山排水機場

現地調査は、東一口の（省）とでおこなった。

久御山排水機場（国交省）と巨椋池排水機場（農水

久御山排水機場は、古川流域（面積：約28・1

平方メートル）の内水を排水するために、昭和48年に第1号ポンプが、昭和62年に第2号ポンプが、平成4年6月に第3号ポンプが、順次増設されてきた。各ポンプの排水能力は、毎

秒30トのため全3機が稼働した場合の最大排水量は、毎秒90トである。ポンプの稼働は、3号機からおこなわれる。また、宇治川の水位が低い場合は自然排水だが、水位が10・5メートルに達し、逆流を始めた場合にはゲートを閉め、ポンプの運転を開始することになると説明を受けた。

巨椋池排水機場は、国営総合農地防災事業として、平成9年度～18年度の事業期間で、160億円の事業費で整備された。排水ポンプは5基配置されており、排水能力は毎秒80トで、25メートルの水を約6秒で排水できるほどのだ。また、ポンプ稼働の設定は、1時間の雨量が、65・4ミリ、3日間の累計雨量が260・6ミリの場合を想定しているとのことであった。なお、現在まで排水ポンプがフル稼働したことがあるのは、5・6回だけのことであった。

巨椋池排水機場で、操作盤の説明を聞く



中学校の給食は？

ボール遊びができる広場を！

危険な通学路が…

平成25年度第2回「地域懇談会」(主催:久御山町議会)

報告版

# 小中学校PTA役員のみなさんと懇談会実施

## ★懇談会での主な意見は…

- ▶ **中学校給食の早期実施を**  
⇒小学校ではおいしい給食が実施されているのに、なぜ中学校は給食がないのか？
- ▶ **中学校のクラブ活動の充実を**  
⇒一環教育のなかで中学校のサッカーが上手くなるよう育てられないのか。
- ▶ **小学校での一部のクラスで授業が困難？!**  
⇒根本原因を探ることが大事だ。(PTAとして) 良いクラス作りの話をもっとしていかなくてはならない。議員の考えを聞きたい。
- ▶ **通学路～第2京阪道路側道の横断歩道橋**  
⇒使いづらい。中途半端な歩道橋のつけ方だ。通学路を変更すると遠回りになり、通学時間だけでも安全対策をしてもらえないか。
- ▶ **通学路～通学時間帯の規制強化**  
⇒車の進入禁止箇所にも猛スピードで入ってきて大変危険だ。箇所を把握し通学路を安全に。
- ▶ **役場に「子ども110番」登録窓口の設置を**  
⇒「子ども110番のいえ」に登録したと役場に行ったが、いろいろと窓口を回されたあげくは、「警察」といわれた。役場に窓口設置を。
- ▶ **議員は全町の安全マップを把握すべき**  
⇒議員は町全体を把握すべき。
- ▶ **ポケットパーク・ボール遊びができない**  
⇒ポケットパークなど幼児向けの公園はあるが、小学生がサッカーや野球などのボール遊びできる場所がない。つくってほしい。
- ▶ **森地区のポケットパークに時計をつけて**  
⇒森地区のポケットパークには時計がない。町として検討してほしい。



## ★懇談会の会場や参加者は…

日時：8月9日(金) 午後7～9時  
会場：クロスピアくみやま2階会議室  
参加者：PTA役員のみなさん(8人)  
久御山町議会議員(13人・欠席1人)  
主催：久御山町議会

## ★「地域懇談会」の目的は…

久御山町議会では、開かれた議会づくりと議会活動の充実を目的に、地域懇談会を実施しています。

そして懇談会でお聞きした疑問や意見、要望は、後日、町長に書面で伝えると共に各議員が議会で取り上げるなど、議会活動の活性化に努めています。

今年度第2回目は、町立小中学校のPTA役員のみなさんとの懇談で、テーマは「子どもたちが健やかに育んでいく地域づくり」として実施しました。

その概要(左記)をお知らせします。

# きてみて・議会!

## ぶら〜り議会見学会



久御山町議会では、住民のみなさんに議会に対する理解を深めていただき、より親しんでいただくため、議会施設の見学会を毎年開催しています。施設の開放と見学を通じて、議会の仕組みなどについて議員が説明します。当日は、町民文化祭が久御山中央公民館周辺で開催されます。ご来場の際は、お誘いあわせのうえ、お気軽にお越しください。

日 時／11月2日(土) 午前11時～午後3時

受付場所／議会棟4階ロビー

見学施設／本会議場、第1・2委員会室、議員応接室など  
(写真撮影もできます)

親しまれる議会をめざして

# ちよこつと懇談会

こん だん かい



町「ちょう」の事「こと」を《ちよこつと》、議員とお話しませんか。

本年度の第3回目の地域懇談会は、すこし趣向を変えて小規模の懇談会を開催いたします。

「議員さんが多くて圧倒される」「夜の時間が合わない」など、いままで地域懇談会に取り組んできた際の参加者アンケートのご感想などから、議会見学会に合わせて、議員と住民の皆さんの少数どうしの懇談会とさせていただくこととなりました。直近の議会報告をさせていただくとともに、皆さんからの様々なご意見をお聞きます。

日 時／11月2日(土) 午前11時～午後3時

受付場所／議会棟4階 ロビー

久御山町議会では、常に「開かれた議会」「親しまれる議会」をめざして活動しています。その一環として、本年も昨年に引き続き、議場などの見学会を、そして新たに、議会棟4階ロビーを利用して住民のみなさんとの懇談会を開きます。多くの皆さんの参加をお待ちしています。

# 特色ある簡素で効率的な行財政運営

◆緑風会 視察報告  
(7月22日～23日)

## ▼五城目町(秋田県)

「地域活性化支援センター」や「まちづくり課」を新設し、企業の立地促進めざす



テーブルは地元産のけやき。その他扉や壁などにも使用しています。

五城目町は人口1万人の町です。また500年にわたる伝統の朝市が開催されるなど、農林商工業の立地促進めざす

また、アンケート調査や地区懇談会をおこない、起業家を積極的に支援するために「地域活性化支援センター」を設置しました。そして、全世帯のアンケート調査結果を踏まえ、地元での雇用機会を拡充するための「企業誘致係」を「まちづくり課」に新設しました。こうした総合計画推進のために、町は企業立地対策を重点プロジェクトに設定し、企業立地推進基金1億円を積み立て、東京都千代田区内に東京

事務所も開設し、方針と促進戦略を立て奮闘中です。

## ▼井川町(秋田県)

「自立計画」で  
行財政改革を推進

井川町は人口6千人の町です。一般財源の大部分を占める地方交付税の減額により、町「自立計画」では、業務全体を見直し、職員の減少によるサービス低下を避けるため、意識改革を積極的に進め「簡素で効率的」な行財政運営を推進してきました。

これまで、学校改築、上下水道、町道整備、有線放送などの住環境整備を重点的に整備し、完了させました。さらに待機児童ゼロ、幼保一体こどもセンター、国保会計への補てんゼロ、無料巡回バスの運行などの事業も実施するなか、地域性を生かした新たなまちづくりに取り組んでいます。

# 「本文の見出しは具体的に」「表紙写真はトップクラス」

～議会広報紙クリニックで評価受ける～

去る8月29日、ルビノ京都堀川で開催された議会広報研修会(京都府市町村議会議長会主催)に、広報特別委員全員で参加しました。研修会では、表紙の写真や本文の構成及び議会広報紙のクリニックがおこなわれました。

本町の議会広報『くみやま議会だより』の



「議会だより」表紙写真選考中!

「議会だより」表紙写真選考中! 全国でもトップクラスである」と高い評価を受けました。今後も、研修したことと評価を忘れず、更なる内容の充実を務め、住民のみなさんに信頼される広報紙づくりへと引き続き努力を重ねていきます。

## 編集が終わって:

今夏は、「異常気象」と気象庁が発表するほどの猛暑や竜巻、また台風18号や26号では、全国各地で甚大な被害が発生しました。

久御山町でも、初の特別警報や全戸避難勧告が発令されるなど、不安な気持ちになられた方も多かったと思います。

議会では、平成23年に「久御山町議会の災害時対応に関する要綱」を制定し、9月の全員協議会でも、その内容を再確認したところです。

さて、今回、議会広報研修会で指導を受け、新たな発見や改善を加え、今号の広報紙づくりを終えました。いかがでしたでしょうか?

## 広報特別委員会

- 委員長 中 大介
- 副委員長 巽 悦子
- 委員 岩田 芳一
- 委員 島 宏樹
- 委員 塚本五三藏
- 委員 樋口 房次

このまち  
このひと  
No.1



# 切り絵象嵌そうがん：研究に5年かけ

陶芸作家(栄在住) 74歳  
みやざき まさのり  
宮崎 正制さん

今号から『こ

のまち・このひと』として装いに新たにスタートします。第1回目は、挑戦し続ける陶芸作家の宮崎正制さんに、直撃インタビューしました。

二度の大病乗り越えて

今年9月のウクライナ

で開催された『国際平和美術展』に、宮崎さんの「切り絵象嵌」が展示されました。

インターネット上で宮崎さんの作品を見て、工房を訪れた東京のギャラリー・オーナーが、「これまで見たことのない作品だ。ぜひ東京の陶芸展

で取り上げたい」と誘い、出展したことがきっかけです。

現在、アクトバル自治やゆうホールで「サークル陶遊会」の講師をしている宮崎さんが陶芸を始めたのは、50歳代。会社の休日に志津川陶芸教室に通い、二度の大病を乗り越え作陶に励みました。

住んでいる場所の粘土で

宮崎さんの作品の「風雷神神」や「東寺」、「長刀鉾」、「京都の風景」は、全て「切り絵象嵌」で、ミリ単位の数百のパーツをピンセットで埋め込み、茶色や灰色などの粘土をたくみに使いこなして濃淡を描いています。

絵模様には彫って土を埋める従来の「象嵌」とは違い、宮崎さんの独手法による「切り絵象嵌」は、逆転の発想で、柔らかな

表紙の「くみやま」を書いたのは



佐山小学校1年生  
ふくおか はると  
福岡 晴斗くん

サッカーが大好きな晴斗くんは、学校の休み時間や放課後も休みの日と同じくらいサッカーで遊びます。

また家では、1歳になる弟の世話を進んでやる優しいお兄ちゃんです。

将来の夢は、もちろんサッカー選手になることです。頑張ってます！

粘土板に絵模様を切った別の粘土のパーツを埋め込みます。そのため、かなり広い面積に対応でき、より繊細な細工ができます。

筒状の粘土は轆轤ろくろで均等に削れますが、平板の粘土は均等に削ることが難しいため、みんなから「そんなことは出来ないう！」と言われたことで逆に燃え、化学メーカー研究者の粘り強さを發揮し、5年の歳月をかけて

(聞き手:文 広報特別委員会)

研究開発した結果、独自の技法を完成させることができました。

陶芸を手がけている者として、「地元の巨椋池跡から出た粘土で焼くのは、焼き物をする人間にとって非常に興味がある」といいます。

「切り絵象嵌」の繊細で立体感ある味わい深い陶芸美を求め、各地で陶展開催されるなど、今後の活躍が期待されます。

